

車種別取付資料

ES-89Light — 配線する信号はⓁ表示です。

BOX No. 181811

車両情報	スズキ ハスラー	平成26年1月~令和2年1月	MR31/MR41系	1/4ページ	ES-89Light	Type	N.L.
	マツダ フレアクロスオーバー	平成26年1月~令和2年1月	MS31/MS41系			Opt.	ドアロックリレーNLⅢ(EP070)

❶ プッシュスタートシステム(電子キー)付き車のみ

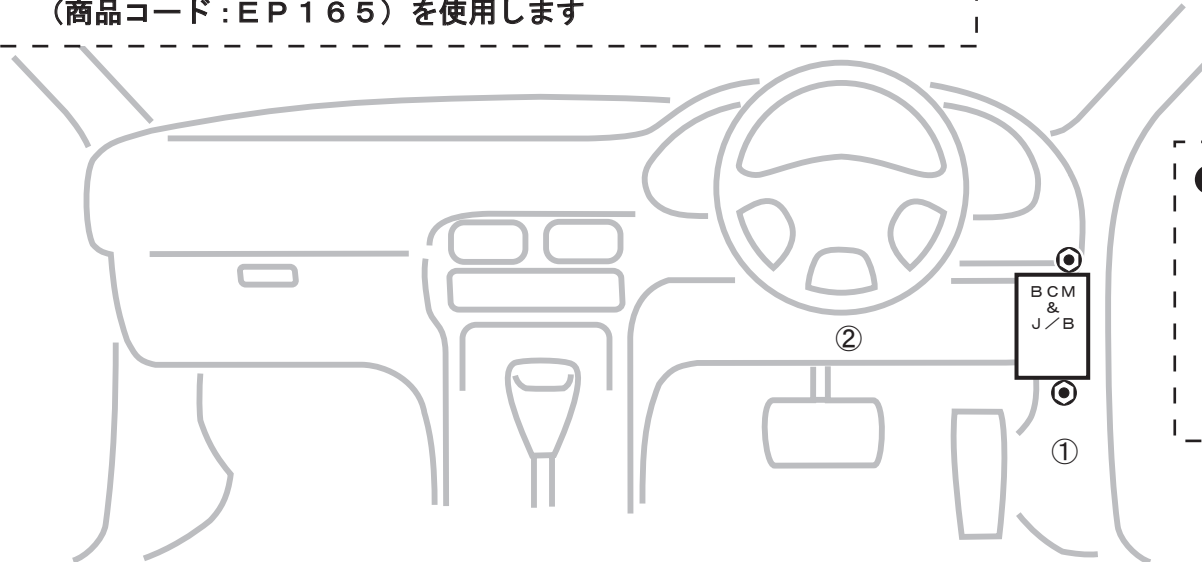
◎カバー類の取り外しは、必ずこのページの手順のとおりに行ってください。

❶ 各配線の取り付けについては、2/4~4/4ページをご覧ください。

重要!

◎取付作業を行う際はバッテリーのマイナス端子を外した上で行ってください。
外さずに行うと故障の原因となることがあります。

❶ 取り付けの際は、S-5イモビュニット・VS224Pハーネスセット
(商品コード:EP165)を使用します



❶ 運転席側カバー類の外し方

- ① 右足下のサイドカバーを外す…樹脂クリップ(1本)を外し、ロアカバー右側への引っ掛け部分に注意して外す。
- ② ロアカバーを外す…周囲のクリップに注意して手前に引っ張る。
※ J/B左側面奥のカブラ内に配線作業を行う場合は、J/Bのボルト(2本)を外しJ/Bを手前に引き出して作業を行う。
作業の前に、J/B左側のカブラ3個(灰色)を先に外しておく、作業スペースが確保しやすくなります。

止めネジ等



車種別取付資料

ES-89Light — 配線する信号はⓁ表示です。

BOX No. 181811

車両情報	スズキ ハスラー	平成26年1月~令和2年1月	MR31/MR41系	2/4ページ	ES-89Light	Type	N.L.
	マツダ フレアクロスオーバー	平成26年1月~令和2年1月	MS31/MS41系			Opt.	ドアロックリレーNLⅢ(EP070)

① プッシュスタートシステム(電子キー)付き車のみ

◎カバー類を取外し、専用ハーネス(VS224P)の取り付けは、必ずこのページの手順のとおりに行ってください。

① 専用ハーネス以外の各配線の取り付けについては、3/4~4/4ページをご覧ください。

① 専用ハーネス(VS224P)の取り付け手順(1)

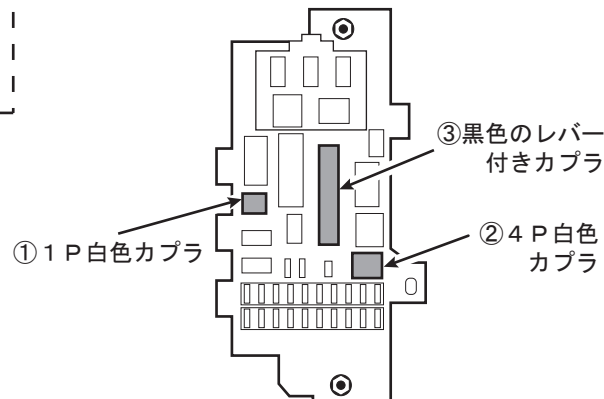
※J/B正面拡大図を参照して、下記の手順で取り付けをしてください。

- ① 1P白色カブラを割込接続する…J/B左側中央付近。
- ② 4P白色カブラを割込接続する…J/B右側下(ヒューズの上)付近。
- ③ 端子付き茶色線(保護チューブ付き)の接続…J/B中央付近にある、黒色のレバー付きカブラ内の空き端子に接続する。

① ③の端子付き茶色線の接続については、詳細説明(手順)を取り付け手順(2)に記載しています。…本ページ(右記)の手順に沿って、間違いないように作業を行ってください。

① 専用ハーネス(VS224P)にテーピング固定されている白色6Pコネクタは、S-5イモビ対応ユニットのハーネスに接続します。詳細は、イモビ対応ユニットの取付説明書を参照してください。

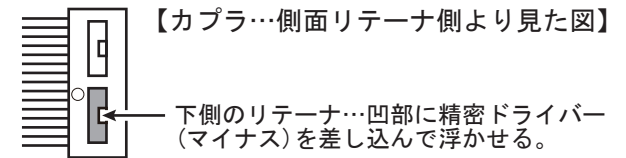
【BCM&J/B正面拡大図】



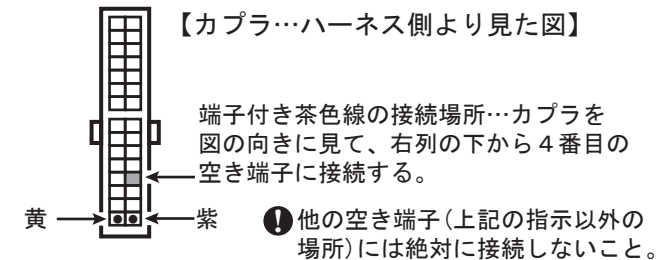
② 専用ハーネス(VS224P)の取り付け手順(2)

③の端子付き茶色線の接続についての詳細説明(手順)

1. 黒色のレバー付きカブラをJ/Bから外す。
 - レバー(下側)のロックを外しながら約45度まで起こして、カブラをJ/Bから外す。
2. レバー(黒色)部分をカブラから外す。
 - レバー両側を広げてツメ2箇所(カブラ側面のハーネス側)を外しながら、レバーを約90度まで起こす。
 - レバー側面(左右)にあるカギ穴とカブラの凸部を合わせて、レバーをカブラから外す。
3. カブラのリテーナ部分を浮かせる。
 - カブラ側面のリテーナ(上下2つある下側のリテーナのみ)を、精密ドライバー(マイナス)を使用して約1mm浮かせる。



4. 端子付き茶色線をカブラに接続する。
 - 端子付き茶色線の保護チューブを外してから、カブラの空き端子(下図で指示した場所)に、端子の向きに注意して確実に差し込む。



- 茶色線を接続後、浮かせたリテーナを押し込んで元に戻す。
5. レバー(黒色)を取り付けして、カブラをJ/Bに取り付ける。
 - 取り外しと逆の手順で、レバーとカブラを復元する。

車種別取付資料

ES-89Light — 配線する信号はⓁ表示です。

BOX No. 181811

車両情報	スズキ ハスラー	平成26年1月~令和2年1月	MR31/MR41系	3/4ページ	ES-89Light	Type	N.L.
	マツダ フレアクロスオーバー	平成26年1月~令和2年1月	MS31/MS41系			Opt.	ドアロックリレーNLⅢ(EPO70)

❶ プッシュスタートシステム (電子キー) 付き車のみ

- ❶ CN2のPポジション(青色)を必ず配線してください。(配線先は下図参照)
A/T車認識設定は、フットブレーキを使って行います。(左下記の手順を参照)
- ❷ CN2のL端子(茶色)を必ず配線してください。
車両側には、L端子の接続先がありません。L端子配線は、専用ハーネス (VS224P) の小さい6P白色カブラにある茶色線 (5cmの切りっ放し線) へ接続してください。
- ❸ ドア開閉検出について…セキュリティ機能をする場合等。
※全てのドア開閉検出を行う場合は、CN2のドア検出配線を、必ず本ページで指定された2箇所へ接続してください。…J/B左側面の26P灰色カブラ内の2箇所へ接続すること。
接続には、別売のドア検出ユニット(商品コード: EPO30)が必要です。

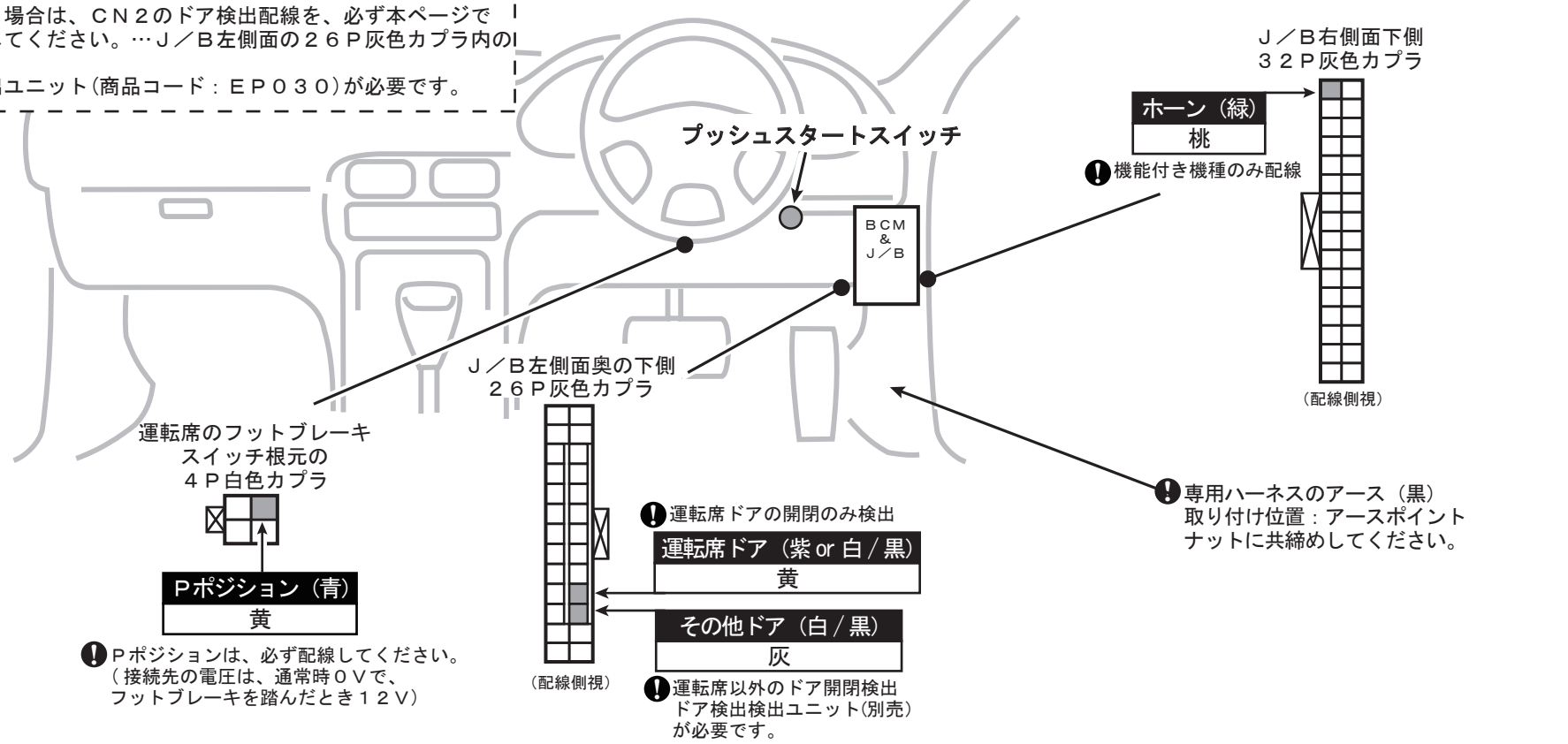
- ### ❶ お知らせ
- エンジンスターターで始動してアイドリング中は、車両のメーター内のマルチインフォメーションディスプレイに「スタートシステム要点検」の表示が出ますが、車両側の異常ではありませんのでご了承ください。
 - エンジンスターターによるアイドリングを停止して、車両のエンジンボタンを押してエンジン始動を行うことで、上記の表示は消えます。
エンジンスターターを使用した場合は、必ずエンジンを止めてから乗車するようにしてください。(3/3ページの使用上の注意事項❶を参照)

❶ Pポジション配線して、フットブレーキで行う。

オートマチック車認識設定

- 配線・リレーユニットの取り付け終了後、下記の手順で設定を行ってください。
- ① 車両のイグニッションをONにする。
 - ② リモコンでSTOPを押す。
 - ③ 車両のブレーキを踏み、受信機のアラーム音が変わった後(約3秒後)ブレーキを放す。
 - ④ 車両のイグニッションをOFFにする。
 - ⑤ 設定完了
- ※設定作業をしないとエンジンスターターでエンジンがかかりません。

配線内容(受信機CN2線色)
車両配線色



❶ この資料は、当社に於いて見取りを実施した車両をもとに作成してあります。年式、グレード等によって違いが生じる場合がありますのでご注意ください。

車種別取付資料

ES-89Light — 配線する信号はⓁ表示です。

BOX No. 181811

車両情報	スズキ ハスラー	平成26年1月~令和2年1月	MR31/MR41系	4/4ページ	ES-89Light	Type	N.L.
	マツダ フレアクロスオーバー	平成26年1月~令和2年1月	MS31/MS41系			Opt.	ドアロックリレーNLⅢ(EP070)

Ⓛ プッシュスタートシステム(電子キー)付き車のみ

Ⓛ 注意事項

- エンジンイモビライザーシステムが装着されている車両は、エンジンスターターは、イモビライザー対応モデル(受信機に4極コネクタが付いているモデル)のみ取り付けできます。
- 取り付けの際は、S-5イモビ対応ユニットを使用します。
- 詳細は、イモビ対応ユニットの取付説明書を参照してください。
- クランキング固定時間の設定(セルモータを回す時間の変更)機能は、使用できません。(設定自体ができません。)

Ⓛ 使用上の注意事項

- エンジンスターターを使用した場合は、必ずエンジンを止めてから乗車するようにしてください。…エンジンスターターのSTOP操作でエンジンを止める、またはドアタイマー機能を「使用しない」に設定して、ドアを開けたときにエンジンが止まるようにする。
 - エンジンスターターでアイドリング中は、車両のキーレス(スマート)エントリー操作等でのドアロック/アンロックは作動しません。
 - なお、エンジンスターター(ProLightシリーズ)のリモコンによるアンロック機能は、アイドリング中も停止後も作動します。
- エンジンスターターのアフターアイドリング機能は使用できません。機能の設定はしないでください。
- 車両に装着されているセキュリティアラーム(盗難発生警報装置)とエンジンスターターのセキュリティ機能は、併用(同時に使用)しないでください。…誤作動の恐れがあります。
 - 車両に装着されているセキュリティアラームは、エンジンスターターでのロック/アンロック操作では、セット/解除されません。…基本的には、エンジンスターターのセキュリティ機能を使用してください。
 - 車両のセキュリティアラームを使用する場合のみ、必ず車両のキーレス(スマート)エントリー操作等でロック/アンロック操作を行い、セット/解除を行ってください。

Ⓛ イモビ対応ユニットの緑色線を接続する。

CAN-H(緑)
赤

16P黒色診断コネクタ
(正面=端子側より視)



CAN-L(茶)
白

Ⓛ イモビ対応ユニットの茶色線を接続する。

Ⓛ 警告

- CAN-L、及びCAN-Hを診断コネクタの配線に接続する際は、確実に間違いの無いように作業を行ってください。
- 接続を間違えると、車両に重大な影響を及ぼす場合があります。

配線内容(受信機CN2線色)

車両配線色

